

登園許可書の提出が必要です！

## 感染症一覧表

病名	登園許可書(医師記載)	潜伏期間	登園のめやす	症状	アドバイスなど
インフルエンザ	登園届(保護者記載)	1～4日	発症した後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで	突然の高熱、頭痛・関節痛など	検査は発熱後半日以上経過しないと正しく判定できないことが多いので注意しましょう。
百日咳	提出	7～10日	特有の咳が消失するまでまたは5日間の抗生物質治療が終了するまで	かぜ症状で始まり次第に咳が強くなってきます。	生後6ヶ月以内は特に重症化しやすいです。四種混合の予防接種は早めに受けましょう。
麻疹(はしか)	提出	8～12日	解熱後3日を経過するまで	かぜ症状で始まり熱が一時下がった後に、発疹がでてきます。	感染力も強く重い病気です。1才を過ぎたら必ずMRワクチンの予防接種を受けましょう。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	提出	16～18日	耳下腺等の腫れが発現した後5日を経過し全身状態が良好になるまで	発熱。片側もしくは両側の耳下の腫れ、痛み。	髄膜炎・難聴などの合併症を起こすことがあります。症状が出たら必ず受診しましょう。
風疹(三日はしか)	提出	16～18日	発疹が消失するまで	発疹、発熱など。	妊婦への感染が問題になります。保育園で発生した場合、送迎時に注意しましょう。
水痘(水ぼうそう)	提出	14～16日	全ての発疹がかさぶたになるまで	皮膚に小さな発疹が現れやがて水疱になります。	感染力の強い病気です。1才過ぎたら予防接種を受けましょう。
咽頭結膜熱(プール熱)	提出	2～14日	症状が消失し2日間経過するまで	高熱が4～5日続き目が赤く充血し、目やにが出ます。	夏に流行することが多くあります。症状が消失した後、30日間程度便中にウイルスが排出されているため便とオムツの取り扱いに注意しましょう。
結核	提出	3ヶ月～数年 10年 (特に6ヶ月以内)	医師の指示に従う	咳、微熱、倦怠感など	乳幼児では重症結核になる可能性があります。成人家族からの感染が多いので注意しましょう。
腸管出血性大腸菌感染症	提出	10時間～6日	医師の指示に従う	激しい腹痛、下痢、血便など	O157などの大腸菌感染症です。食品は十分加熱して食べましょう。
流行性角結膜炎(はやり目)	提出	2～14日	目やに、充血などの症状がおさまるまで	目の充血、目やに、涙目、まぶたの腫れなど	感染力が強い病気です。手洗いに注意してタオルの共用を避けましょう。
急性出血性結膜炎	提出	1～3日	医師の指示に従う	目の充血、目やに、結膜下出血(白目にポツポツとした点状の出血)	涙や目やにに触れた指・タオル等から感染します。手洗いに注意し、タオルの共用を避けましょう。
髄膜炎菌性髄膜炎	提出	3～4日	医師の指示に従う	高熱、頭痛、嘔気嘔吐けいれんなど。	